

VIII 誇らしい「都」をつくる

～奈良のポテンシャルを最大限に活かした
まちづくりを進め、地域の新たな未来を切り開く～

25 南部・東部の振興

(91) 南部・東部の都づくり

26 大和平野中央部の振興

(92) 大和平野中央スーパーシティ構想の検討

(91) 南部・東部の都づくり

ここまで良くなってきました

令和3年3月に「**奈良県南部・東部振興基本計画**」を策定し、南部・東部地域において、森林と水を守りつつ、人と経済の循環を高め、持続可能な地域社会を形成することを目指し、**人が集まる拠点の形成及び結節、地域を支える人材の育成・確保のプロジェクトや事業に取り組んできました。**

奈良県南部・東部振興基本計画を策定



誇らしい『都』づくりのイメージ



■ 南部・東部地域

もっと良くなるために

南部・東部地域の振興に関する施策を**市町村と協働**して推進するため、令和4年3月に「**奈良県美しい南部・東部地域を県と市町村が協働して振興を図る条例**」を制定し、**施策実施の継続性を担保**します。

○目指す姿

- ・多様な生態系を持ち、魅力があふれ、食料・木材・水・エネルギー等を安定的に供給する等重要な役割を担う南部・東部地域を守る。
- ・森林環境の維持向上と水資源の保全を図り、地域資源の活用による交流拡大、経済の好循環及び脱炭素社会を、県、市町村、県民等の相互協力により実現し、持続可能な地域社会を形成する。

○県と市町村との協働・県の責務

- ・県と市町村が目標を共有し協働して施策を推進
- ・市町村・県民・事業者の主体的な取組に配慮し、相互連携による取組を推進
- ・地域の現状及び施策の重要性に関し、県民の関心及び理解を深める取組を推進

○推進体制の構築

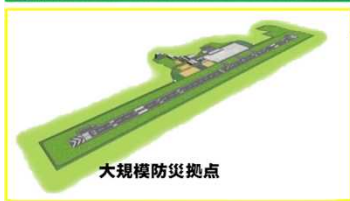
- ・県と市町村との協議の場の設置

○振興基本計画を条例に位置づけ、基本的施策を推進

- ① 産業の振興及び雇用の創出
- ② 住民の福祉の向上及び生活の安定
- ③ 防災・減災対策の推進
- ④ 魅力ある地域づくりの推進
- ⑤ デジタル社会の形成の推進

もっと良くするために

人が集まる**拠点の形成及び結節**、**地域を支える人材の育成・確保**に引き続き取り組み、**持続可能な地域社会の形成**に向け、これまでの取り組みをさらに進めます。



南部・東部地域の拠点と結節



南部東部振興監所管事業

産業の振興及び雇用の創出

- ・(新)奥大和地域の各市町村において、移住定住のための多機能拠点を形成するとともに、奥大和移住定住交流センターを核に各拠点を結節するためのネットワークを構築
- ・(新)奥大和地域の各拠点で活躍するリーダーを発掘、育成する伴走型支援プログラムを実施 等

魅力ある地域づくりの推進

- ・(新)奥大和地域のポテンシャルと食文化を活かした関係人口創出イベント等を開催
- ・(新)東部地域の市村と連携し、うだ・アニマルパークで東部地域の魅力を発信するイベントを開催
- ・奥大和地域を舞台に歴史・自然環境等を再発見できる歩く芸術祭を開催
- ・地域の魅力を体感してもらい、関係人口の増加を創出するための、奥大和地域の特色を活かしたイベントを開催
- ・メディア等を活用した奥大和の情報発信、奥大和の「暮らし」や「仕事」を伝える映像の制作・配信 等

住民の福祉の向上及び生活の安定

- ・(新)デジタル技術を活用して地域課題を解決するため、調査・分析や住民・関係者等とのワークショップ等を開催し、実行計画を策定
- ・奥大和地域内におけるコミュニティナースの育成 等

デジタル社会の形成の推進

- ・(新)デジタル技術を活用して地域課題を解決するため、調査・分析や住民・関係者等とのワークショップ等を開催し、実行計画を策定(再掲)

令和4年度予算案 326百万円

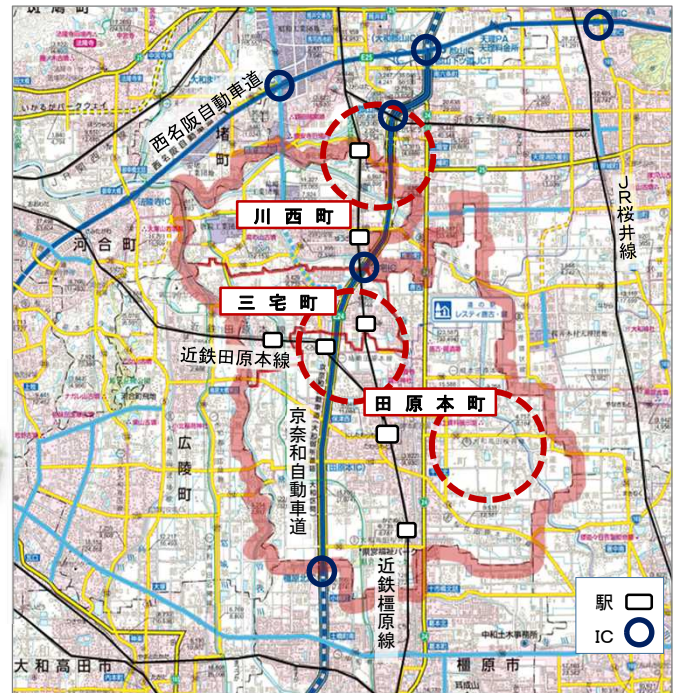
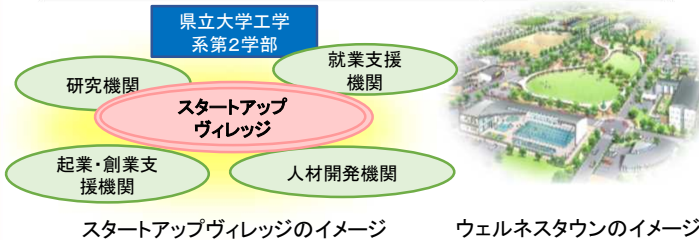
(92) 大和平野中央スーパーシティ構想の検討

ここまで良くなってきました

磯城郡3町(川西町、三宅町、田原本町)と協働して大和平野中央プロジェクトに取り組んでいます。

○磯城郡3町と個別に「まちづくりのテーマ」と「対象地区」を決定する「協定書」を締結

まほろば健康パークと連携した ウェルネスタウン(健康増進)	川西町 下永地区
県立大学を核としたスタートアップ ヴィレッジ(産業の活性化)	三宅町 石見地区
スポーツ施設を核としたウェルネ スタウン(健康増進)	田原本町 阪手北・ 西井上地区



(奈良県道路網図)

○まちづくりの構想等を検討・策定
○必要な土地の確保に向け、用地測量に着手

＜大和平野中央プロジェクトの対象地域＞

- ・磯城郡3町は、大和平野の中心部に位置し、総面積31km²のうち農地が約15km²を占める、農業中心の地域
- ・近年は周辺に高速道路や主要道路が整備され、交通利便性が著しく向上

大和平野中央プロジェクトの進化を図るため、大和平野中央スーパーシティ構想に取り組んでいます。

○国のスーパーシティ構想を視野に入れて検討

国家戦略特区法に基づく「スーパーシティ区域」の目的である、先端的サービスの実行と広範かつ大胆な規制・制度改革は、大和平野中央プロジェクトの目標と一致するところが多いことから、国のスーパーシティ区域の第2次募集を視野に入れて検討を開始

＜大和平野中央プロジェクトの事業目標＞

- ① 雇用の場の確保と若者の県外流出抑止
- ② 人材育成と県内企業の人材確保
- ③ 県内の若者、女性、高齢者の再教育
- ④ 子どもから高齢者までの県民の健康で健全な生活の維持向上

○コンソーシアム形式による検討を実施

奈良県と磯城郡3町は、大和平野中央プロジェクトの更なる進化を図るため、コンソーシアム形式による検討をR3年11月にスタート



キックオフ会議の様子



検討会の様子

もっと良くするために

大和平野中央プロジェクトの新たなまちづくりの計画等を策定します。

- 「大和平野中央プロジェクトまちづくり基本計画」を策定(29百万円)
- (新)知的交流拠点の設置に必要な基本計画等を策定(8百万円) [債務負担行為 12百万円]
- 県立大学工学系第2学部の設置(三宅町)に必要な基本計画等を策定(28百万円) [債務負担行為 18百万円]
※現キャンパス(奈良市)でのR7先行設置を目指す。
- スポーツ拠点施設の整備推進(28百万円)
・奈良県での国体開催とその先の将来を見据えて、拠点となる施設の整備に関する実施計画等を策定

土地の確保に向けた取組を進めます。

- 用地測量等・用地取得を実施(205百万円) [債務負担行為 8,000百万円]

大和平野中央スーパーシティ構想を推進します。

- 大和平野中央スーパーシティ構想の推進(25百万円)
 - ・コンソーシアム形式による推進会議の実施
 - ・(新)コンソーシアム参画企業が実施する先進的な取組に対し助成
 - ・大和平野中央地域周辺の県事業との連携(まほろば健康パーク、なら歴史芸術文化村 等)
- (新)奈良県版シュタットベルケ創生に向けた可能性検討事業(2百万円)
 - ・電力にドイツのシュタットベルケ(地域電力公社)の手法を導入することの可能性を検討

<構想に盛り込むテーマ>

A. 知的な大和平野の創造

1. 県立大学工学系第2学部の設置とスタートアップヴィレッジ

2. 大和平野地域雇用戦略の実行

3. 就学前教育 ～就学前児童のこころと身体のはぐくみ～

4. 地域のリカレント教育

B. 健康長寿の大和平野創造

5. 新しいスポーツ施設の整備とウェルネスタウンの建設

6. 医療、地域包括ケア、健康増進、社会福祉の一体的推進

C. 大和平野田園都市の建設

7. 田園都市建設構想の実現

8. 地域内移動の円滑化

9. 安全・安心まちづくり

10. 農業の省力化、効率化、高度化

D. 脱炭素社会への挑戦

11. 大和平野シュタットベルケ構想(エネルギー脱炭素への挑戦)

E. デジタル社会の構築

12. 大和平野中央デジタル化の推進

13. 行政運営効率化と地方政治の見える化

F. 推進体制の整備

14. 周辺県施設の整備運営との連携

15. 推進組織の構築(PPPP※の実行)

令和4年度予算案 325百万円 [債務負担行為 8,030百万円]

※PPP(Public Public Private Partnership): 県と市町村など複数の自治体に関わる官民連携